

ニュース&トピックス

大相撲幕内力士の豪風関が「いなほの里」を訪問



▲ 豪風関と一緒に大合唱をする利用者たち

大相撲で活躍している、秋田県出身の豪風関が1月25日、デイサービスセンター「いなほの里」を訪れ、利用者と交流を深めました。

豪風関が姿を現すと、利用者はいつもテレビで見ている地元の英雄の登場に涙を流して感激し、笑顔と拍手で出迎えました。豪風関は「地元の応援が相撲を取る際の、大きな力となっています。これからもたくさん勝って地元の人々を喜ばせたいですし、地域貢献活動にも積極的に取り組みたい。」と地元への思いを語りました。

その後は利用者と一緒に懐かしい歌の合唱や、記念撮影やサインなどをして頂くなど、利用者は夢のような時間を過ごしました。

親切丁寧な整備活動などを表彰 当JAから4人が優秀賞に輝く



▲ (左から) 受賞した菊池さん・齊藤さん・工藤さん・木村さん

優秀な業績を上げたJA職員を表彰すると共に、新年の事業推進に向けて意志結集を図ることを目的とした、秋田県JA農業機械パワーアップ運動成果発表大会が1月28日、秋田市の秋田キャッスルホテルで開催されました。

今年は当JAから、修理整備料金部門で工藤誠治さん(能代農機センター主査)、農家訪問活動部門で菊池一明さん(二ツ井藤里農機センター主査)、メーカー部門で齊藤務さん(能代農機センター・センター長)と木村範夫さん(能代農機センター)がそれぞれ優秀賞に輝き、農業機械分野における当JA職員の質の高さが証明されました。

収穫・出荷の最盛期間近に控え 出荷規格の統一を図る



▲ 収穫された山うどの出来を確認する生産者

JAあきた白神山うど部会(桜田和浩部会長)による、山うど目揃会が1月12日、能代市のシャトー赤坂で開催され、生産者が出荷規格の統一などを確認しました。

目揃会には、生産者やJA・市場関係者などが参加。はじめに桜田部会長が「天候不順による、初期生育や株の充実不足で、収量や品質に大きく影響が出ると思われませんが、部会では今後も適正な栽培を心掛け、高品質山うどのお出荷に向けて取り組んでいきたい。」と挨拶しました。また、担当者から今後の市場情勢や出荷・検査体制などの説明が行われ、生産者は今後の収穫に向けて思いを巡らせていました。

女性部員一丸となって 地産地消と食農教育の推進を誓い合う



▲ これまでの女性部活動の総括と次年度への抱負を語る佐々木部長

1年間の女性部活動を振り返り、活動の結果や問題点を検討し、次年度の活動へ向けた取り組みを話し合う、「第8回JAあきた白神女性部大会」が1月17日、能代市のプラザ都で開催され、約230人の女性部員が参加しました。

はじめに佐々木博子女性部長が「これからも仲間と共に、かけがえのない地域の幸せを守り、子どもたちの食育を推し進めていきたい。」と挨拶。その後、船木幸子さんと工藤貞子さんから活動体験発表が行われたほか、湊城南小学校の五年生6人によるJA食農事業の畑作体験発表や、山本組合総合病院の近田龍一郎院長が、『健康』をテーマとした講演を行いました。

